

庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課〒998-0857
酒田市若浜町1-40
TEL0234 (22) 6521
FAX0234 (22) 6522

青田巡回指導（令和6年6月）

気候変動に負けない地域農業の発展を目指して！

酒田農業技術普及課 課長 齋藤 幸一

昨年7月25日からの大雨では、管内の酒田市、遊佐町で甚大な被害が広範囲に発生しました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、今なお復旧・復興に尽力されている皆様方には深く敬意を表します。

当課では、一日も早い被災地の復旧と営農再開に向けて、被災された生産者や市町、JA等の関係機関の皆様と共に力を合わせながら、新たな産地を見据えた営農計画の作成や栽培技術の指導・支援に取り組んでまいります。

近年は、昨年のような集中豪雨や、令和5年の夏季の記録的な高温・少雨など、気象災害が常態化・激甚化しています。このような状況に対応するためには、基本技術の励行に加え、新しい技術の導入や新たな判断材料を持つことが有効になってきます。そこで、当課では、水稻の安定生産に向けてスタブルカルチにより作土深を確保することや、アスパラガスなどの園芸作物ではハウス内環境をモニタリングした栽培技術の「見える化」と技術の継承に取り組んでいます。

令和7年度が“実り豊かな年”になりますよう、現場に密着した技術指導と現地の状況を捉えたタイムリーな情報発信を行いながら、生産者の皆様や関係機関と一丸となって、酒田飽海地域の農業振興に取り組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 普及活動

～人、魅力、農村づくりを
推進します～

野菜

いちご新品種「山形S7号」の 産地化に向けた栽培技術支援

管内では、令和7年から県オリジナルの四季成り性いちご新品種「山形S7号」の栽培が始まります。定期的に圃場巡回を実施するとともに、栽培管理のポイントや調査展示圃の生育調査結果を情報提供し、良苗生産と収量確保のための栽培技術の習得を支援します。



調査展示圃の生育調査（令和7年3月）

作物

気候変動に対応した栽培管理で 高品質・良食味米の安定生産を!

近年、大きな気候変動により生育進度が早まったり、高温登熟による作柄への影響が大きくなっています。気候変動に対応するため、巡回指導や栽培研修会等により技術対策を周知するとともに、衛星画像を活用した「スマートつや姫」の活用も推進していきます。



穂肥巡回指導（令和6年7月）



「米づくり情報」
LINEで発信中!

花き

さくら「啓翁桜」の効率的な花芽 着生技術による生産の安定化

植物成長調整剤を利用した新梢の伸長抑制は、環状剥皮に替わる技術として、強風による枝折れや夏の高温乾燥による枝先枯れの発生防止の点でも期待され、関心が高まっています。そこで、展示圃を活用し、技術の更なる導入拡大を図っていきます。



花芽着生効果の検討（令和6年10月）

農作物の大雨対策技術研修会（庄内） を開催しました!

令和6年7月25日からの大雨は、アメダス酒田の24時間降水量が観測史上最大の289.0mmを記録し、農作物等の被害は甚大なものとなりました。県では、「庄内地域水稻等豪雨対策支援チーム」及び「庄内果樹豪雨対策プロジェクトチーム」を設置し、農作物被害の要因解析と対策技術の検討を行いました。令和7年3月4日（火）に三川町子育て交流施設テオトルで開催した研修会には、県、市町、JA、生産者代表など約60名が参加し、被災後の対策技術と今後の備えについて学びました。気象災害が激甚化、頻発化しており、基本管理技術の徹底や生育回復技術の早期実施により被害を最小限にとどめ、収量、品質の低下を防いだ事例が報告されました。



果樹

水稲育苗ハウスを利用した
「シャインマスカット」の高品質生産

取組み開始から9年目を迎え、生産者は技術習得に努めており、ぶどうの品質も年々向上しています。これまでよりポイントを絞った技術指導を行って、より一層おいしいぶどうを育て、魅力のある産地となるよう取り組んでいきます。



せん定講習会(令和6年12月)



畜産

国産飼料の生産・利用拡大による
コントラクターの普及・定着支援!

管内における令和7年のWCS用茎葉型稲品種「山形飼糯138号」の作付面積は、約100haと見込まれています。飼料として評価が高く、収穫適期幅が広いことから、畜産農家と耕種農家の双方における導入メリットの実現に向けて栽培技術の定着に取り組んでいきます。



同品種の出穂70日後の状況(令和6年10月)

経営

農業法人の人材育成支援

農業法人では、高齢化に伴う担い手の確保・育成が喫緊の課題であり、法人経営における従業員の人材育成を支援しています。近年は雇用就農者が増えており、担い手が働き続けたいと思える環境整備や人材育成の仕組みを検討していきます。



農業法人 人材育成研修会(令和7年2月)

農村資源活用

昔ながらの加工品の技を伝承
～手習い塾～

笹巻やしそ巻き、あらねなど、昔ながらの加工品は、産直などでも人気の商品ですが、高齢化等により作り手が減少しています。ベテラン生産者から加工技術を学ぶ「手習い塾」を開催し、加工技術を次の世代に継承する取り組みを行っています。

手習い塾「ごま豆腐」鶴岡市知憩軒
(令和6年12月)

令和7年度「農業経営実践講座」受講生募集!

- 開講期間** 令和7年5月～令和8年1月
- 会場** 酒田農業技術普及課、農業技術普及課、同産地研究室、現地圃場など
- 講座回数** コースにより4～6回(平日の日中に開催)
- 対象者** 新規就農者、就農希望者、経営改善を目指す農業者等 各コース10人程度
- コース** (受講は2つまで可能です)
- ①稲作基礎
 - ②野菜基礎
 - ③花き基礎
 - ④果樹基礎
 - ⑤畜産基礎
 - ⑥農産加工基礎
 - ⑦複式簿記
- 受講料** 無料(コースによって実費負担あり)
- 申込期限** 令和7年5日末日まで
- 申込先** 担当 吉田、五十嵐まで電話(0234-22-6521)にて

環境にやさしい農業に取り組んで
みどり認定を受けましょう!!

「みどりの食料システム法」に基づき、化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者の認定制度がスタートしています!詳しくは農業技術普及課にお問い合わせください。

山形県みどり
認定HP

やまがたアグリネット

<https://agrin.jp/>

気象センサーと連携し、
低温等の警報をメール
でお知らせします。

やまがたアグリネット

「もしも」のピンチに
「いつも」の安心を 収入保険

NOSAI山形 庄内支所 収入保険課
TEL: 0234-91-1553